

2022年7月13日

## 輸送動向について（2022年度第1-四半期）

### 1. 輸送概況

コンテナは、新型コロナウイルス感染症に伴う需要低迷の影響等を受け、積合せ貨物、家電・情報機器を除く品目で前年を下回った。

エコ関連物資は、建設発生土の輸送が2021年7月に終了したため前年を下回ったほか、自動車部品は、半導体不足および海外からの部品調達困難により各社が生産調整を行った影響等で減送となった。農産品・青果物は、玉葱が北海道地区では前年の夏季干ばつによる作柄不良、九州地区では価格高騰に伴う長距離輸送の減により低調に推移した。化学工業品、化学薬品は、自動車各社生産調整に伴う原料需要低迷により低調となった。

一方、積合せ貨物は、2021年10月からのブロックトレイン運転開始等により増送となったほか、家電・情報機器は、エアコンの需要回復や一部顧客のモーダルシフトの推進等により前年を上回った。コンテナ全体では前年比95.7%となった。

車扱は、石油が新型コロナウイルス感染症の影響緩和によりガソリン需要が増えたことから前年を上回った。車扱全体では前年比101.8%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比97.3%となった。

### 2. 輸送実績

種別 扱別	1-四半期計		
	本年実績	前年実績	前年比
コンテナ	4,496	4,700	95.7%
車扱	1,669	1,639	101.8%
合計	6,165	6,339	97.3%

### 3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱別	品目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	270	294	-24	91.8%
	化学工業品	404	424	-20	95.1%
	化学薬品	306	325	-19	94.2%
	食料工業品	768	780	-12	98.5%
	紙・パルプ	500	503	-3	99.4%
	他工業品	313	325	-12	96.2%
	積合せ貨物	802	795	7	101.0%
	自動車部品	143	175	-32	81.7%
	家電・情報機器	88	82	6	107.6%
	エコ関連物資	109	153	-44	71.0%
	その他	795	844	-49	94.1%
	コンテナ計	4,496	4,700	-204	95.7%
車扱	石油	1,167	1,124	43	103.9%
	セメント・石灰石	221	245	-24	90.1%
	車両	171	167	4	102.3%
	その他	110	104	6	106.1%
	車扱計	1,669	1,639	30	101.8%
合計	6,165	6,339	-174	97.3%	

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)